

カトリック河原町教会だより

2013年6月

おめでとうございます

堅信の秘跡 57名が授かる

京都南部地区合同堅信式が5月19日(聖霊降臨の主日)午後2時から河原町教会で、大塚司教の司式により行われ、57名の方が堅信の秘跡を授かりました。河原町教会からは19名の方が、また滋賀県から11名の方が受堅しました。式後、ヴィリオンホールでお祝いの会が催されました。



修築特別献金のお願い

聖堂エレベーター設置と会館配水管工事をを行います。ともに高額な費用がかかるため、修築特別献金を集めることになりました。ご協力のほどよろしくお願いします。

- ・目標額 2,000万円
- ・期間 2013年5月12日から1年間
- ・方法 修築特別献金の明細書と封筒を使用し、次のいずれかの方法でお願いします。
 - ①維持献金と一緒に納入袋に入れる。
 - ②ミサ献金と一緒にかごに入れる。
 - ③事務室に直接持参。※お名前は、必ずしも記入されなくてもかまいません。



アシジの聖フランシスコ(1182~1226)

聖フランシスコは、「平和を願う祈り」を世に残した中世イタリアの聖人です。アシジの裕福な織物商家に生まれ、若い頃は自由奔放な日々を送っていました。騎士を夢みて対ベルギア戦に従軍しますが、1年間捕虜の身となった後重病にかかります。その間、心を神に向けて人生や死について考え、神の招きを受けてアシジに戻ります。1206年に聖ダミアノ教会で「早く行って私の家を修繕しなさい。今にも倒れそうだから」との主の声を聞いたフランシスコは、全てを捨てて貧しい人への福音、病人の看護、教会の改善に全力をささげました。

キリストの言葉に従順に生きる彼に感化を受けた人々が次第に集い、1210年に「小さき兄弟会」(現フランシスコ会)を創

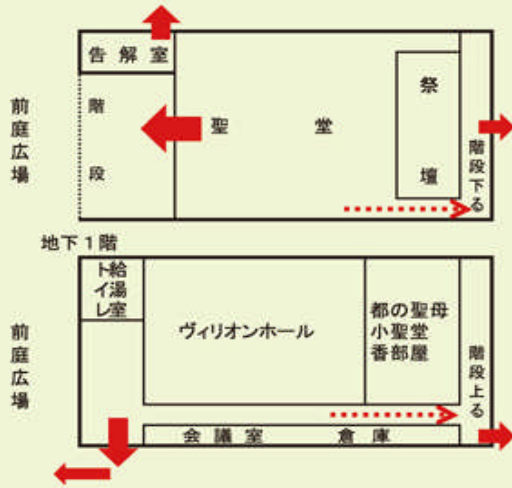


ジョット「聖痕を受ける聖フランシスコ」1325年

立、清貧と愛に根ざした神との深い交わりは、人々の心を強くとらえ信仰へと導きました。「太陽、月、星、水、大地、人間…死まで」に「兄弟姉妹よ」と呼びかけ、神への壮大な賛歌をささげています。「弱者への献身・病者への慈愛」の実践に生き、1224年に病の苦しみ中で聖痕を受けたフランシスコは、その2年後44歳で生涯を閉じました。

教皇フランシスコは、選出決定の際に一人の枢機卿から「貧しい人々のことを忘れないでください」と言われ、その時に自分の心に強く入ってきた名前がアシジの聖フランシスコであった、と語っています。神の導きに従って平和を愛し、貧しく慈愛にみちた聖フランシスコの生き方は、わたしたちにとって信仰の模範であり、力と慰めです。

緊急非常口と広域避難場所



- カトリック会館の非常口 エレベーターの右5メートルにある非常階段
- 広域避難場所 京都御苑と鴨川両岸(丸太町大橋～加茂大橋の間)

「エリの集い」のバザー

4月21日(日)「エリの集い」のバザーが聖堂前庭で開催されました。収益金は土曜学校の春の遠足の費用と東日本大震災の被災地への支援金として寄付されました。遠足は5月25日(土)にカトリック奈良教会、奈良公園、東大寺を訪ねました。

「エリの集い」は土曜学校の保護者の会で、土曜学校の後方支援と教会共同体への奉仕を行っています。初聖体の子どもたちの衣装製作、侍者服の製作や洗濯、侍者室や地下トイレの清掃、土曜学校クリスマス会や錬成会の手伝い、バザーを行っています。「エリの集い」の奉仕活動を通して、保護者同士の親睦と、教会共同体の方たちとの交流を深めています。



生きる力を育てる ガールスカウト京都第25団

ガールスカウトは、少女と若い女性のための社会教育団体です。1910年に英国で始まり、現在、世界145の国と地域で約1000万人の会員が活躍しています。2010年には、日本での発足90周年を迎えました。

■ガールスカウトの3つのポイント

①自然との調和を学び、②豊かな情操を養い、さまざまな人々とともに行動し、互いを尊重する心を育て、③自分の可能性を発見し、主体的に生きることを身につけます。自然の中で有り合わせの材料だけで道具を作ったり、人命救

助法を学んだり・・・楽しみながら活動しています。また年齢の異なる仲間と交わることで、社会性を身につけることもできます。このように自然の中で神様の存在を感じながら、会員たちは生きる力を伸ばしています。

■ガールスカウトの活動

現在10人の少女メンバーが活動中で、毎月第1日曜日のミサで献金を集め、ミサ後の集会室でのお茶接待をしています。復活祭では毎年、イースターエッグを配っています。就学1年前から高校生までの少女会員と18歳以上の成人会員

によって構成されています。どなたでも随時入会できます。生涯の仲間と出会うチャンスです。一緒に活動しませんか。毎月第1日曜日9時からと、月に2回ほど土曜日の午前10時～12時に地下3番会議室で集会を行っています。連絡先(090-1078-9998 東)



復活祭でイースターエッグを配る

高山右近列福祈願関連事項
五月二十六日午後二時から講演会
会場 ヴィリオンホール
演題「オルガンチノ神父の宣教活動」
講師 シルビオ・ヴィータ京都外大
教授

- ・ 信仰教育、信仰の分かち合いの検討を進める
- ・ 「河原町教会所属任意団体規約」、「河原町教会施設使用規定」を整備し、聖堂後ろの維持献金納入袋棚の右端に提示
- ・ 信仰教育、信仰の分かち合いの検討を進める

- ・ 「高山右近列福祈願の祈り」、「東日本大震災被災者のための祈り」を主日のミサ前、聖歌練習の後に行う
- ・ 「河原町教会所属任意団体規約」、「河原町教会施設使用規定」を整備し、聖堂後ろの維持献金納入袋棚の右端に提示

- ・ エレベーター設置、会館配水管工事の修築特別献金について、信徒の皆さんへの主旨説明を行う
- ・ 聖堂と会館の非常口表示板の取り付け、告知を行う

▼協議事項

- ・ 六月二十三日(日)霊名のお祝い
七時ミサ 花井神父様
十時半ミサ 大塚司教様

▼行事予定

- (行事予定については四頁に記載)
- ・ 聖体礼拝：六月二日キリストの聖体(祭日)九時半から聖体礼拝を行う(聖歌練習、高山右近列福の祈り、東日本大震災被災者のための祈りは中止の予定)

洛東ブロック司祭紹介 オスカル・ロメロ 一場 修 神父

いちば おさむ

プロフィール

1962年6月2日 生まれ (51歳)
群馬県吾妻郡出身
1986年4月20日 受洗 大和福音教会(プロテスタント福音派)
同年12月カトリックに移る
堅信名 オスカル・ロメロ
2001年9月8日 司祭叙階
奈良教会(大塚司教)
2013年4月 京都教区南部地区
洛東ブロック担当司祭 着任

京都南部地区洛東ブロック担当司祭として、信徒の皆様とともに歩ませていただくことになりました。マリスト会の精神は、マリア様にならって教会を下から支えることにあります。現実の世の中で起きている苦しみや悲しみや痛みを、その人と一緒になって受けとめ、そこから解放されることを願って真剣に神に祈ることで、神は真剣に祈る人の祈りは必ず聞き入れて下さいます。



■オスカル・ロメロという堅信名の由来

オスカル・ロメロはエルサルバドル(中南米)の大司教の名前です。ロメロ大司教は、軍による弾圧と殺りくが繰り返される政治体制の中で、貧困層の側に立ち、「殺してはならない」という聖書のみ言葉を解釈して伝えるのではなく、神のみ言葉そのものを伝え、祈りました。しかし、悲しいことに、1980年ミサの司式の最中に暗殺されました。わたしはこの大司教の信仰になりたいと願い、聖人でも福者でもないこのオスカル・ロメロ師の名前をいただきました。(1997年にロメロ大司教の列福、列聖調査が開始されました。)

■信徒の皆さんと、教会を下から支える

わたしはカトリックに移ってからマリスト会に属し、司祭叙階後は奈良地区で奉仕してきました。マリスト会の日本宣教の終了により、これからは

■罪の告白は神が聞かれている

わたしは「ゆるしの秘跡」を大切にしています。ゆるしの秘跡の時に、罪の告白を聞くのですが、それを聞いているのは実は司祭ではありません。神から遣わされた司祭職であって、その告白を聞いているのは神です。神は全てをご存知ですから、わたしたちが自ら自分の過ちを認め、祈ることによって、神はおゆるしになり、生きる力をお与えになります。ゆるしの秘跡を通して、神の恵みと力をいただけます。

■高齢化社会に生きる教会

教会は若い人が増えず、高齢化が進み、年金生活者によって維持される割合が増えるという現実と直面しています。この現実には教会にとって、神との出会いの場が増えるチャンスが到来しているのではないかと思います。老いや死が身近になる中で、それを受けとめることは、キリストを通して神に出会うチャンスを得たとも言えます。教会は、「いやしの

秘跡」であるゆるしの秘跡や病者の塗油の秘跡を通して、病気の人や高齢者の不安や苦しみ、悲しみや痛みに寄り添い、祈る場でもありません。

■日々の生活を「祈り」に生きる

自分を利するための祈り、自分の欲望のための祈りはかなえられませんし、祈りの中で神はいくつもの試練をお与えになりますので、祈ったからといってすぐに良い結果が生まれるとは限りません。しかし、真剣な祈りに、神は必ず知恵を授け、恵みをお与えになります。

日々の生活の中で、祈りによって、自分を振り返り、神から離れている自分に気づき、神に救いを求めるとき、神は必要な恵みを必ず与えてくださる、とわたしは信じています。

一場神父様による入門講座が
6月4日から新しく始まります。
毎週火曜日午後7時15分
会館1階集会室

河原町教会五月評議会報告

▼司祭団より

入門講座が新しく始まります

火曜日午前10時 花井神父

火曜日午後七時十五分 一場神父

木曜日午後三時 花井神父

金曜日午後三時 シスター藤田

鶴山神父の個人講座の希望者は教会事務室に連絡してください

(入門講座一覧は四頁に記載)

▼各部報告

典礼部 バイプオルガン調律を五月十五日、十六日に行う

財務部 エレベーター設置工事、会館配水管工事のための修築特別献金

をお願いする。目標額二千万円、期間二〇一三年五月十二日から

一年間

施設管理部 献金箱の検討

エレベーターの設置に伴い、防犯カメラの検討

広報部 部会開催掲示板の案作成

教育部 エリの集いのバザー収益約五

万円。東日本大震災への支援金と土

曜学校遠足費用とする

ワールドユースデーリオデジャネイ

ロ(ブラジル)大会に一名参加

ザビエル訪れの会は昨年のクリスマス

市民の集いのアンケート回答者の訪

問が終了し、現在は主に高齢の方の

訪問を再開している

・キリシタン研究会は高山右近列福

運動として千堤寺巡礼、高槻教会

右近研究室との情報交換、講演会

などを行っている

などを行っている

●2013年6月～8月の行事予定●

(7月、8月は予定です。変更の場合もあります。)

祝・記念日		行事予定
6/2	日	評議会6月例会
6/23	日	大塚司教様、花井神父様霊名のお祝い
6/30	日	教会美化デー
7/7	日	評議会7月例会
7/14	日	洛東ブロック司教訪問 桃山教会
8/4	日	評議会8月例会
8/5	月	～7日(水) 教区中学生広島平和巡礼
8/8	木	～10日(土) 土曜学校錬成会
8/11	日	平和旬間行事
8/15	木	聖母被昇天 聖母被昇天ミサ 7時 10時半
8/16	金	諸死者追悼ミサ 18時
8/25	日	田中司教様霊名のお祝い 10時半ミサ
8/31	土	教会学校研修会

お知らせ

◇信仰入門講座が新しく始まりました

火曜日午前10時 花井神父 火曜日午後7時15分 一場神父
 水曜日午後7時 花井神父 木曜日午後3時 花井神父
 金曜日午後3時 シスター藤田
 村上眞理雄神父様、村上透磨神父様の講座は従来どおりです。

◇河原町教会の「小教区評議会規約」とともに、今般整備された「任意団体規約」、「施設使用規定」が聖堂後ろの維持献金納入袋棚の右端に提示されています。

◇郵送サービスのお知らせ

「河原町教会だより」を教会に来られない方々に郵送いたします。ご希望の方は送り先の名前と郵便番号、住所を教会事務室までお知らせください。

◇お願い：ご家庭で眠っている未使用の切手がありましたら、3階教会事務室までお願いします。「河原町教会だより」の郵送に使わせていただきます。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)
 7:00
 10:30
 12:00 (英語)
 月曜日 6:30
 火曜日 6:30 18:30
 水曜日 6:30 18:30
 木曜日 6:30
 金曜日 6:30 18:30
 土曜日 6:30
 18:30 (主日のミサ)

信仰の学び

どなたでも自由にご参加ください。途中からでも参加できます。

◆信仰入門講座◆

(1F 集会室または3F 応接室)
 一場神父様、鶴山神父様、シスター藤田の新しい講座が始まります。
 火曜日 10:00 花井拓夫神父(1F)
 19:15 一場修神父(1F)
 水曜日 10:00 村上眞理雄神父(1F)
 19:00 花井拓夫神父(3F)
 木曜日 15:00 花井拓夫神父(3F)
 金曜日 15:00 シスター藤田(3F)
 19:15 村上透磨神父(1F)

◇鶴山進栄神父様の個人講座がスタートしています。ご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◇ボアベール神父様の講座は当分の間休講です。

◆信徒養成講座◆

(1F 集会室 14:00)

北村善朗神父「秘跡を学ぶ」

6月6日(木)

7月4日(木)

テキスト：『カトリック教会のカテキズム要約』

◆聖書通読会◆

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。(主催:教育部)